

居宅介護支援事業所 華



ケアマネジャーの役割とは？

介護保険法では

「要介護者等が、心身の状況等に応じ適切なサービスを利用し住み慣れた地域で自分らしい生活が主体的に送れるように、介護保険制度やその他の社会保障制度などあらゆる社会資源を活用していく様に支援していきます。」「個々の要介護者等の解決すべき課題や状態に即した『利用者本位の介護サービス』が適正かつ効果的に提供されるよう調整を行います。」と決められています。

ケアマネージャーの仕事

ご高齢となり在宅で生活する上で「困りごと」が出てきた際に、利用者様・ご家族様とケアマネジャーと一緒にになって解決する手立てを検討し決めていきます。解決の手立ては、介護保険サービスを中心に、介護保険以外の福祉制度や近隣の地域サービスなどを、柔軟に組み合わせます。そして、決めた内容に思惑通りの効果があるかを検証します。そうした中で、利用者様やご家族様に寄り添いながら、日々の「困りごと」を解決できるように導いて、自立できるように支援していくことが、私たちケアマネージャーの主な仕事です。



医療法人 良秀会
RYOSHUKAI

2019.11

居宅介護支援事業所 華は、介護保険法が施行されたと同時に開設されて以来、早19年が経ちました。開設当初はケアマネジャー2名から始まり、現在は高石市の事業所も含め17名のケアマネジャーが在籍するようになりました。まだまだ、「居宅介護支援事業所ってどんなところ？」「ケアマネジャーはなにをする人？」と尋ねられることも多く、今回は、あまり知られていない私たちの仕事の内容について、ご紹介したいと思います。

協力し合える環境づくり

「困りごと」にも様々な種類があり、中には担当ケアマネジャー1人では解決できない場合もあります。そんな時でも、居宅介護支援事業所 華では仲間のケアマネジャーと知恵を出し合って一緒に考えます。

また、ここ数年では退職者も定年退職者の1名のみで、ケアマネジャーにとって働きやすい環境になっています。



相談援助業務にあたるうえで、利用者様やご家族様、ケアマネジャーにとても心地よい空間を目指し、日々励んで参りますので、「困りごと」がございましたら「居宅介護支援事業所 華」まで、お気軽にご相談ください。

